※令和４年度以降入学生用

学校番号	3033

令和５年度　理数科

教科	理数	科目	理数化学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　「化学」　（啓林館）						
副教材等	新課程版　セミナー　化学基礎＋化学　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ２年次からは、反応や現象がより詳しくなるため、化学基礎よりも内容がはるかに難しくなります。授業後すぐに復習することを心がけてください。
- 授業では、授業用のプリント、教科書、図説を主に使用します。
- 授業のポイントや自身で気づいたことやクラスメイトの発言した内容などを授業プリントの空白部分等に記入していきましょう。
- 課題に対して、自ら考え、周りの人と協働して考えましょう。
- 授業の振り返りをしましょう。授業で大切なことや疑問に思ったことなど、自分でまとめてください。
- 問題集用のノートを用意してください。
- 問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
- 家庭学習課題、問題集用のノートは、提出してもらいます。

2　学習の到達目標

自然の様々な現象を観察し、微視的な観点から考察することで、問題を見出す・化学的な解釈をすることができることを目標とする。そのために、学んでいく内容を、粒子概念をもとにして正しく理解することが必要となる。また、学んでいく内容はそれぞれが独立しておらず、単元を超えた内容の結びつきがあり、それを意識することで、一つの事象に対して、様々な角度から解決方法を探る能力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・原則について理解を深め、知識を身に付けている。	物質の変化や化学反応に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の状態	結晶 気体の性質 溶液の性質	a:　物質のとっている状態に合わせて、数式を用いて表し、計算する手法を身につけている。 b:　物質がどのような状態にあるかを把握し、その考察方法が身についている。 c:　物質の状態について、状態変化やエネルギーの観点から理解しようとしている。	定期考査 提出ノート	定期考査 実験レポート 提出ノート	実験レポート 振り返りシート
2学期	物質の変化・無機物質	熱化学 非金属元素	a:　さまざまな化学物質の性質・反応について理解している。 b:　物質がどのような状態にあるかを把握し、その考察方法が身についている。 c:　無機物質について、化学結合論による理解をしようとしている。	定期考査 提出ノート	定期考査 提出ノート	振り返りシート
3学期	無機物質	典型金属元素 遷移金属元素	a:　さまざまな化学物質の性質・反応について理解している。 b:　金属イオンの反応性について理解し、それを活用することが出来る。 c:　典型金属元素・遷移金属元素について、化学結合論や酸塩基・酸化還元反応による理解をしようとしている。	定期考査 提出ノート	定期考査 提出ノート	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度